

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 一級河川 太田川水系 桐原川支川22外 通常砂防事業に伴う業務
委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象 砂防 構造物基礎

ボーリング名	BorNo. R2-BT-4	調査位置	広島県広島市安佐北区可部町桐原 地内	北緯	34° 31' 46.7777"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和2年12月 7日～ 令和2年12月 9日	東経	132° 31' 35.8968"
調査業者名	中国開発調査株式会社 電話 082-274-1211	主任技師	本山 秀明 地質調査技師 第12244号	現場代理人	本山 秀明 地質調査技師 第12244号
コ 鑑 定 者	本山 秀明 地質調査技師 第12244号	ボーリング責任者	加藤 良彦 地質調査技師 第21934号	試験機	YBM 1WA型
孔口標高	TP 108.56m	角	180° 上 90° 下 0°	方 向	0°北 270°西 90°東 180°南
総削孔長	9.33m	度	0°	地盤勾配	0° 鉛直 90°
		使用機種		エンジン	ヤンマー TF90V-E型
				ポンプ	YBM GP-5型

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験						試料採取			室内試験	削 孔 月 日			
											深度 - N 値 図						深 度 (m)	試 料 番 号	採 取 方 法					
1	107.76	0.80	礫混り砂			暗褐	rd2		現世土石流堆積物(渓床堆積物) ・礫はφ20-40mm程度の中-粗礫が混入 ・砂は細-粗粒砂から成り粒径幅広い	0.50														
2									土石流堆積物(完新世崩積堆積物) ・場所に基盤地質起源の原岩組織の残留する風化岩塊及びクサリレキが点在 ・φ2-10mm程度以下の細礫及び鉱物片を伴い粒度不均一															
3				砂質土		暗褐	rd4		・砂は細-粗粒砂から成り、粒径幅広く細粒分を伴う ・基質支持の掃流状を呈す															
4																								
5																								
6	103.06	5.50							中粒弱斑状黒雲母花崗岩強風化岩(DH) ・風化変質が進行し岩質は軟質化 ・原岩組織は明瞭に残存 ・採取試料は土柱状を呈すが脆く、指圧で凹むうえ容易に圧潰可能 ・GL-5.50-5.70m間、低角度で黄灰色の熱水脈を認める															
7				花崗岩		淡褐																		
8																								
9	99.23	9.33																						
10																								
11																								
12																								
13																								
14																								
15																								